

昭和四十六年六月一七日 第三種郵便物認可

昭和五十六年二月一五日 SSK通巻第一〇三五号 (毎月六回、5の日、0の日発行)

# 視覚障害

その研究と情報

SSK 1983年3月 No.64

ISSN 0385-7476

特集／

盲学校生徒の職業意識

3



現代の教養 未来への展望

# 岩波新書



## 教育とは何かを問いつづけて

大田 堯著

戦後教育は私たちに何をもたらしたか。教育研究の歩みの中に真の教育とは何かを探り、展望を明らかにする。 定価四三〇円

## 一路白頭二到ル

高瀬善夫著

留岡幸助の生涯―労働と教育を統合する家庭学校の実践に邁進し社会福祉事業の開拓者とされる明治人留岡の人と思想。 定価四三〇円

## 発達心理学

藤永 保著

子どもの知能や性格は一生変らないのだろうか。発達思想の変遷をたどり、現代の児童観・発達観の行方を探る。 定価四三〇円

## 子どもとことば

岡本夏木著

生まれた時から始まることは以前のコミュニケーションに注目しながら、ことばの獲得と子どもの発達の関わりを語る。 定価四三〇円

## 嫌煙権を考える

伊佐山芳郎著

たばこの害をめぐる論議が全世界で高まりつつある。嫌煙権は何を目的としているか、さまざまな視角から論じる。 定価四三〇円

## 憲法第九条

小林直樹著

核への不安が高まる中でいっそう現実性を増す非武装の規定を多角的に検討し、新しい平和保障構想を具体的に示す。 定価四三〇円

## 原爆に夫を奪われて

神田三亀男編

広島島の農婦たちの証言―川内温井地区の「ヒカ後家」と呼ばれる農婦たちが、凄惨な生き地獄の体験と生活史を語る。 定価四三〇円

## 現代の核兵器

高榎 堯著

ICBM、原潜から注目目のMX、巡航ミサイル、軍事衛星まで、戦慄すべき核兵器と核戦略の実態をわかりやすく説く。 定価四三〇円

## 現代日本社会と民主主義

渡辺洋三著

八〇年安保体制の本質と矛盾を法社会学的観点から鋭く摘出し、憲法の掲げる平和と民主主義の原理を追究する。 定価四三〇円

岩波書店



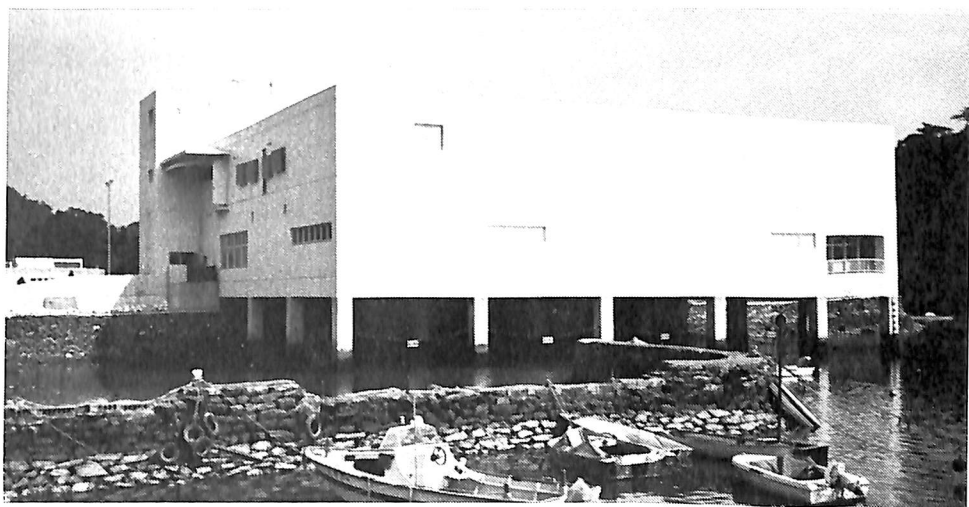
〒101 東京千代田一ツ橋  
振替番号 〆東京 6-26240

岩波書店の出版物は定価販売です。お求めの出版物が店頭にはない場合は、その書店にご注文ください。

# 和歌山県立自然博物館

## 「手で見る魚の国」

昨年7月27日、県下ではじめての県立自然博物館が、海南市温山荘公園内に開館した。和歌山県海域の水族を中心に、植物標本類、貝類標本類を収蔵・展示し、水族は300種7,000点、貝類は1,000種1,500点、動植物は2,000種3,000点におよぶ。この自然博物館のコーナーの一つに国際障害者年を記念して、盲人のための触察コーナー「手で見る魚の国」が設けられている。（盲人の方には、無料で開放されている。）

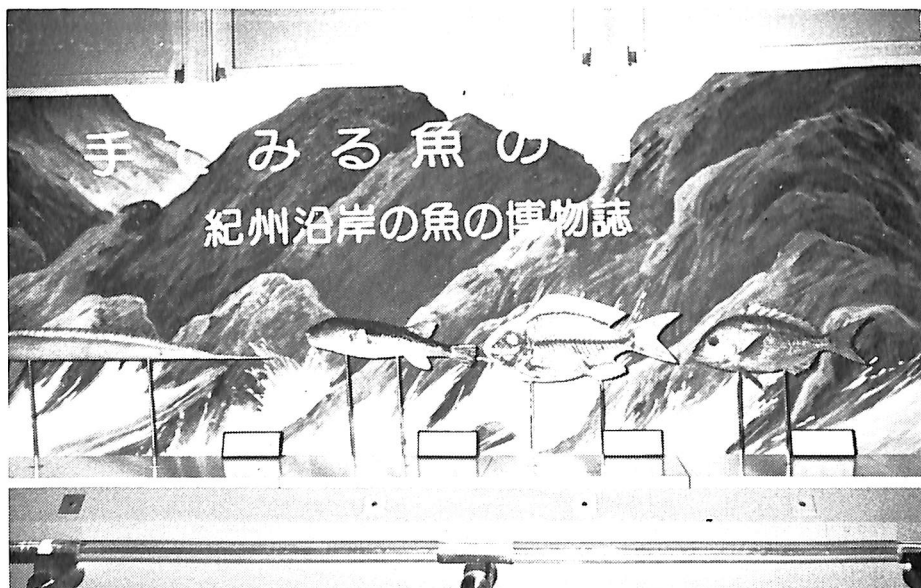


このコーナーは、入口受付でヘッド・ホーンを受け取り、点字ブロックで玄関を入り、館内点字案内図と、点字ブロックで誘導される。

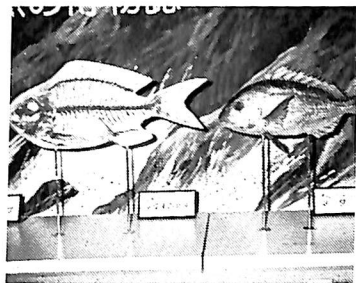


館内へ足を踏み入れると、最初にゴウゴウと音をたてて落下する滝の音が入ってくる。ここでしばらくたたずむと、自然の神秘の世界へ吸いこまれる感じを持つ。続いて、間口15m×3m一枚ガラスの日本初の大水槽があり、そこを通過すると触察コーナーがある。

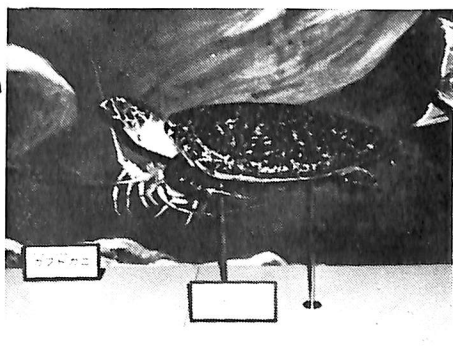
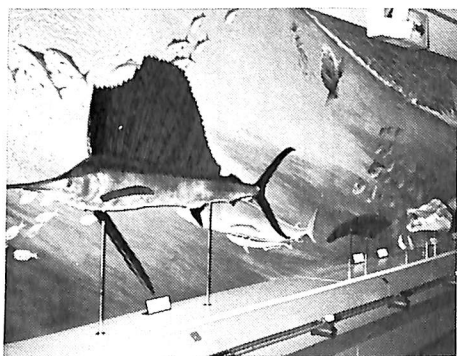
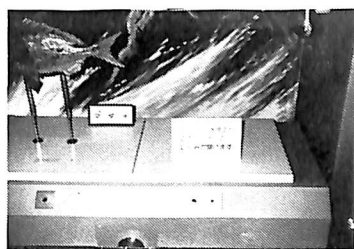
このコーナーは、大分マリーン・パレスに続いて、わが国で2番目の施設であるが、マリーン・パレスは、魚の展示だけなのに対して、ここは、ウミガメや貝などの実物標本もある。



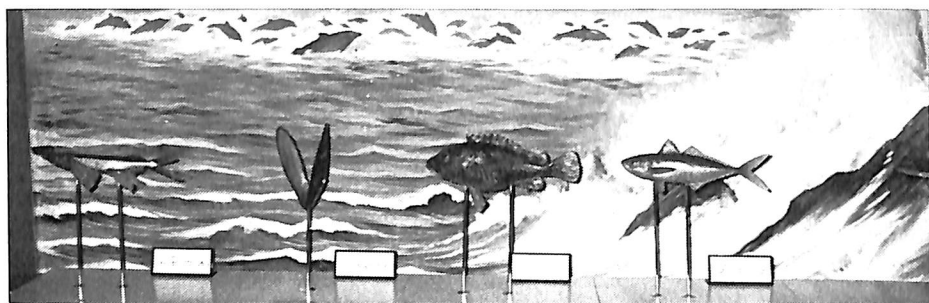
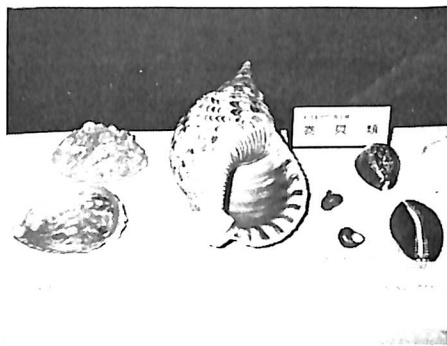
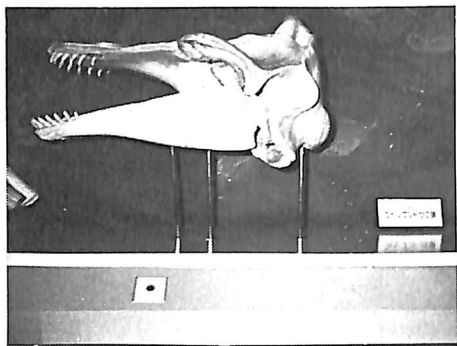
魚の標本は、手で触れると、実物と変わらない状態であり、軟質プラスチックでできている。水族の種類は、身近な魚を中心に、34種50点を展示してある。



展示台の前には、手すりがあり、伝って進むと、手すりに点字が付いていて、展示物の名称が打ってあり、その前の台には、ヘッド・ホーンのジャックがあり、差し込むと、水族の説明の他に、地域の自然、歴史、生物の話題など様々の側面からの話題を3分間平均で提供してくれる。この内容は、楽しみながら学べて、しかも、専門的であり、自然に興味を持たせてくれる。



2メートルもあるバショウカジキや、実物のコビレゴンドウクジラの頭蓋骨、ヒゲクジラのひげ、マッコウクジラの歯、サメの歯、カブトガニなど、耳にはするが、見たことがないと思われる物も展示してある。



コーナーの最後には、録音コーナーがあり、ヘッド・ホーンのジャックを差し込むだけで、録音状態となり、マイクに向って触察の感想や意見を録音するようになっているが、あまり利用されていないようである。利用された方はぜひ感想などをのべて頂きたいと館の方は要望しておられる。

(写真・文 橋本 照夫)



☆問い合わせ先

和歌山県立自然博物館

〒642 海南市船尾 370-1

Tel. 07348 (3) 2721

☆開館時間 午前9時30分～午後5時

☆休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

年末年始（12/28～翌年1/4まで）



## 目 次

1983年 3月 №64

2 ページ評論 ..... 松 井 新 二 郎 ... 2

### 特集 盲学校生徒の職業意識

座談会 盲学校普通科生徒の職業意識 ..... 5

— 視覚障害者雇用促進連絡会のアンケート調査から

衣笠 輝美 阪口 誠

辻内 弘 小林 一弘

この人 盲ろう二重苦の福島智さん ..... 42

中世・近世の盲人像 第2回 ..... 谷 合 侑 ... 45

インフォメーション・コーナー ..... 56

編集後記 ..... 60

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には  
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター  
までお問い合わせください。

## 編集後記

卒業期を前にして、卒後の進路に悩む生徒から、相談をもちかけられている先生方も多いと思います。生徒の希望と現実的な対応とのギャップに、生徒ばかりでなく、先生方もお悩みのことと思います。本号の特集は、その辺の事情を如実に物語っているように思われます。どうにもならない現実の壁を少しでも打ち破るためにはどうすればよいか、地道でも盲人の雇用を促進させていく運動の成果を、気長に待たなければならぬのでしょうか？ 考えてみれば、この問題は先生や生徒だけに任せておくることではありません。

正眼の高校生の中で、自分たちの進路について、こんなに真剣に考えている生徒は果して何パーセントあるでしょうか。それを思うと、不公平さを感じないわけにはいきません。

日本盲人福祉研究会では3月末を目標にして、「ここに生きる 一働く盲人の記録」（新書版、約270ページ、定価1000円）を発行します。12人の盲人の仕事に生きる姿をレポートし、さらに、最新のデータを分析した視覚障害者の職業に関する現状を、資料として添付します。発売の折には、10部以上ご注文いただいた方に、1部100円の販売手数料を差し上げる予定です。皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

(田中徹二)

視覚障害 1983年3月 No.64  
年間購読料 2,500円(送料とも)

発行日 1983年3月1日

編集人 (連絡先)

日本盲人福祉研究会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目  
日本点字図書館内 23番4号  
電話 (03) 200-1130

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧8-21-3

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13  
電話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館